

# 令和4年度 両荘中学校 学校評価

A できている (85%以上) B だいたいできている (70%以上) C あまりできていない (55%以上) D できていない (54%以下)

領域	評価項目	自己評価	自己評価の顕著な結果・意見等【顕著な取り組み】	改善策	学校関係者からの意見(2月)	関係者評価
学力向上	「学習意欲を高めるためのわかる授業づくり」	B 80.5%	<p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒と保護者の学習に対する意識に大きな差がみられる。「楽しくわかりやすい授業」生徒は7割、保護者は2割未満</li> <li>・教員からは、「基礎学力の充実」の取り組みに課題がある、という意見があった。</li> </ul> <p>↓</p> <p>【2月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを活用し、授業づくりを工夫した。</li> <li>(例) 意見を共有した 調べ学習等で興味関心・知識を深めた 学力理解力を向上させた テスト解説動画を作成し質問を受け付けた 体育の多くの種目でICTを活用した</li> </ul> <p>○授業の展開を工夫した。</p> <p>(例) 自主的に作品作りや学習活動に参加できる授業を構成した わかる授業 ・楽しい授業をめざした 身近なことを教材にした プレゼンテーション形式による発表を取り入れた</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICTをさらに活用する。</li> <li>・教材をデジタル化する</li> <li>・授業にICT機器を活用する場面を取り入れる</li> <li>・デジタル教科書を活用する</li> <li>・ICT研修を充実させる</li> </ul> <p>○自ら進んで、学習する意欲を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習到達目標を明確にする</li> <li>・生徒活動を中心とした授業を実施する</li> <li>・生徒の表現力を伸ばす授業を行う</li> <li>・生徒の学習意欲を高める課題を作成する</li> <li>・苦手意識のある生徒へのアプローチを工夫する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親身になって解説動画を作ってくださって、忙しいのに、嬉しかった。学習意欲を高めるための授業の工夫や解説を通して質問しやすい環境作りをされ、理解力の向上につながったと思う。</li> <li>・教材を研究し、さらに質の良い教育に取り組んでほしい。学習意欲を高めるためには、授業の内容を理解できないと意欲がわかないと思うので、わかる理解できるという事はとても重要だと思う。</li> <li>・ICTを積極的に活用し、展開することにより幅広い授業が行われていると思う。</li> <li>・プレゼン形式による発表など楽しみながら授業を受けている。</li> <li>・取り組みにあたっては、指導する先生方の研修等の充実も必要と考える。</li> <li>・自分で調べる学習が重要。プレゼン形式の発表が良い。</li> <li>・両中の学力状況がよくわからないので、何とも言い難いのですが、実践の対象を絞った取り組みが必要だと思う。</li> </ul>	B 82.1%
	「自主的・主体的な学習習慣と基礎学力のための家庭学習の定着」	B 72.2%	<p>【2月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題の提示方法を工夫した。</li> <li>(例) 課題の見通しを提示した 毎時間、課題を出した Chromeブックにより課題を提示した 生活ノートや進度表を活用した</li> </ul> <p>○学習意欲を向上させる取り組みをした。</p> <p>(例) 子どもたちどうして考え方を共有させた 繰り返し学習を取り入れた Chromeブックに解説動画を上げ、自分のタイミングで学習できる環境をつくった。小テストにより個に応じた課題をつくった 授業の反省、改善点を毎時間記入させた</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題の出し方を改善する。</li> <li>・Chromebookの活用する</li> <li>・課題をこまめに提出させる</li> <li>・個人の理解度に応じた課題を作成する</li> <li>・課題の内容、量を見直す</li> <li>・夏休みの課題を工夫する(実技教科)</li> </ul> <p>○課題と評価の方法を見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の未提出者の評価を工夫する</li> <li>・授業と評価のつながりを意識する</li> </ul> <p>○基本的な生活習慣を確立する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面を捉え、家庭に発信する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生になれば、パソコンを使うことは珍しくないが、今までとは違う課題提出で新鮮と思う。</li> <li>・自分に合った勉強の仕方や内容を見つけ、どう取り組むかを考えているのは良い。それが習慣となるよう身に付けていくことが大切だと思う。</li> <li>・子ども同士で考え方を共有させる取り組みが良いと思う。仲間がいると学習意欲も上がるのではないかなと思う。</li> <li>・保護者と生徒の学習に対する思いの差は、保護者の学校に対する期待度の表れであり、ある程度はやむを得ないと思う。</li> <li>・Chromeブックの活用は十分にできているか。習慣化には時間がかかると思う。継続した取り組みを望む。</li> </ul>	B 75.0%
規律ある生活	「望ましい生活習慣の育成」	A 87.0%	<p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年とも8割以上の生徒が規則正しく生活できている。</li> <li>・「あいさつ」や「決まりやマナーを守ること」は生徒・教職員共にほぼ定着している。</li> </ul> <p>↓</p> <p>【2月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニケーション力の向上を図った。</li> <li>(例) 顔をみて挨拶・返事をした 教師から挨拶した 学年スピーチを実施した</li> </ul> <p>○基本的な生活習慣の確立を目指した。</p> <p>(例) 遅刻生徒へ細やかな対応をおこなった ショートホームルームを活用した 学習規律を徹底した 教材持ち帰り指導の変更し整理整頓を意識づけた 生徒提案により3分前の行動を実施した</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニケーション力を育成する。</li> <li>・挨拶の意義を伝える</li> <li>・あいさつや決まりやマナーを守ることを生徒・教職員共にほぼ定着している</li> <li>・教職員が模範となる</li> </ul> <p>○子どもたちの自主性を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の困り感の伝える力を育成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶は本当に皆できている。気持ちが良い。</li> <li>・挨拶返事マナーなどがしっかり身に付いてきているのは素晴らしい。習慣となり継続できている工夫がされている。</li> <li>・登下校中どこでも大きな声で挨拶をしてくれてとても爽やかだ。</li> <li>・3分前行動を生徒が提案したことが素晴らしい。</li> <li>・遠くからでも元気に挨拶してくれるなどほとんどの生徒はマナーや決まりを守っていると感じる。</li> <li>・基本的な生活習慣を確立させるのは多くが家庭の役割であり責任である。</li> <li>・普段から自分の意見を述べる場を増やし、抵抗感をなくすることがコミュニケーション能力の向上につながると思う。</li> <li>・対面で話をする事は良い。</li> <li>・規律を守ることの重要性を理解できればと思う。</li> <li>・自分から挨拶をする生徒が多くなった。</li> </ul>	A 100%
	「生徒理解と信頼関係づくりのための相談活動や個別指導の充実」	B 81.5%	<p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年が上がるにつれて相談できる先生がいる生徒の割合が低くなっている。</li> <li>・教育相談活動やアンケート等により、より深い生徒理解に努めた。</li> </ul> <p>↓</p> <p>【2月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもとの信頼関係を構築した。</li> <li>(例) 声をかけし会話をもった 2者面談を増やした 気になる事はすぐ話を聞いた 人間関係を把握した</li> </ul> <p>○組織的に対応した。</p> <p>(例) 月1回の生徒指導いじめ対策委員会、特別支援不登校対策委員会等で共通理解を図った 心の相談、アンケートを活用し教育相談をおこなった 生活ノートの活用し生徒理解を深めた 問題は早期に対応し連携を図りながら解決した ホットルーム(別室指導)と連携した</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子供と過ごす時間を充実させる。</li> <li>・毎日クラス全員と話すよう心がける</li> <li>・子どもたちが話しやすい雰囲気をつくる</li> </ul> <p>○組織的に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有により個に応じた指導を行う</li> <li>・保護者との連携を大切にする</li> <li>・ホットルーム(別室指導)を活用する</li> </ul> <p>○子どもたちの自主性の育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・困り感を発信できる力を育成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生の方から声をかけていただくなんて気遣ってもらっているんだなあと。相談できる頼りになる先生は多分言わないだけで頭の隅にはいると思う。</li> <li>・悩み事や困り事を話す事は、勇気がいることなので、関係を深め、共に話しやすい雰囲気作りや環境作りも大切になると思う。</li> <li>・先生方が、ほんの小さな変化も見逃さず、些細な言葉で良いので気にかけてやってほしい。孤立させないように。</li> <li>・生徒の声を聞くためには、先生からのアプローチが重要。そのためには普段から生徒との信頼関係を構築する必要がある。</li> <li>・1人の先生にまかすのではなく、組織として十分なバックアップが必要。</li> <li>・登下校の様子を見る限り、生徒間の関係は良い。</li> <li>・大変忙しい中でも生活ノートを続けられているが素晴らしいと思う。きめ細やかな生徒理解の充実を願う。</li> </ul>	B 79.1%
	「行事や部活動による良好な人間関係づくり」	B 82.6%	<p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度よりも感動した学校行事があったと回答する生徒が増加している。</li> <li>・部活動は楽しいと感じている生徒が多数である。</li> </ul> <p>↓</p> <p>【2月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○部活動の充実を図った。</li> <li>(例) 部活動中、生徒に積極的に話しかけた 部活動での他校生交流の機会をつくった</li> </ul> <p>○学校行事を充実させた。</p> <p>(例) 人間関係をつくる機会を設けた 学年を超えた交流を図った 子ども自身による行事づくりを行った 教師が共に活動した</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもたちが自主的に活動する場面をつくる。</li> <li>・子どもたちが達成感を感じることを行事の目的とする</li> <li>・一人一人が行事に参加できる工夫をする</li> <li>・生徒の活動を教職員が「待つ」姿勢をもつ</li> <li>・子どもたちと喜怒哀楽を共有する</li> </ul> <p>○組織的に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の顧問で部活動指導を行う</li> <li>・他学年との連携を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動が少ない中で密集している部、過疎化している部があるのが切ない。</li> <li>・行事や部活動はやらされているのではなく、自らやるという気持ちが大切。それに対する工夫がされていると思う。</li> <li>・生徒たちが自主的に取り組んだ学校行事が素晴らしく、感動した。一人ひとりの存在を感じることができた。</li> <li>・部活動はたくさんさんの良い経験のできる場である。学年を超えた交流や先生達との交流もできる。感動したり、悲しかったり、とても大切な時間だと思う。</li> <li>・コロナ禍で制限がある中、生徒が自主的に先生とともに学年を超えて学校行事に取り組んでおり、評価できる。</li> <li>・部活動では他校との交流もなされるなど積極的に取り組んでおり、今後も継続してほしい。</li> <li>・全般的に良好に思われる。</li> <li>・学年を超えた取り組みは、さらに充実させてほしい。8、9年生が両荘みらい学園のリーダーになるためにも。</li> </ul>	A 87.5%
豊かな環境・心	「道徳の授業と人権教育」	B 78.6%	<p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権感覚や道徳観を身に付けている生徒が多い。</li> <li>・研究授業を実施し、道徳の授業力向上に努めた。</li> </ul> <p>↓</p> <p>【2月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳の授業の充実に取り組んだ。</li> <li>(例) 学年で授業研究を行った ローテーション授業(道徳)を実施した ICTを活用し意見を共有した オンラインによる沖縄県那覇高校との平和学習を実施した 加古川養護学校とオンラインにより交流した</li> </ul> <p>○人権意識の向上を図った。</p> <p>(例) 普段から生徒一人ひとりの人権を意識した対応を行った</p> <p>○多様な講演会を開催した。</p> <p>(例) 命の安全教育を実施した 臓器移植コーディネーターによる講演会を開催した 薬物乱用防止教室・インターネットトラブル防止講座・平和活動講演会を実施した 養護教諭・SCによる講演を行った</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権教育の指導体制を充実させる。</li> <li>・3年間を見通して計画的に指導する</li> <li>・外部講師と連携し専門的な取り組みを行う</li> <li>・小学校との連携をすすめる</li> <li>・普段の言動の指導を行う</li> </ul> <p>○教員の指導力の向上に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内授業公開による研修を行う</li> <li>・校内研究を充実させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ローテーション授業は初耳だった。担任だけじゃないのは新鮮でいいと思う。</li> <li>・道徳や人権教育に新しい切り口から取り組まれている。継続して行っていたらいいと思う。</li> <li>・人権作文を聞かせてもらい、人権感覚が身に付いてきていると感じた。</li> <li>・多様な講演会を実施することにより、さらに思いやりの心を養ってほしい。</li> <li>・薬物乱用防止、インターネットトラブル等の講演会は良い機会だと思う。</li> <li>・ローテーション授業や講演会の開催など、人権教育への積極的な取り組みにより、生徒の人権意識は確実に上がっていると思う。今後も両荘みらい学園開校に向け、命の大切さを学ぶとともに、平和学習への取り組みも継続してほしい。</li> <li>・道徳、人権教育は十分に理解できるように願う。</li> <li>・講演会等は良い取り組みと思う。生徒の思いを生徒間で共有し、発展できる活動もあれば充実するのではないかな。</li> </ul>	A 87.5%
	「心和む美しい学校を目指した環境づくり」	B 84.8%	<p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの生徒が学校は楽しいと考え、他人のために行動したり困っている人を助けようとしていたりすることができている。</li> <li>・生徒・教職員全員が美しい学校になるように努めている。</li> </ul> <p>↓</p> <p>【2月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○清掃活動を効率的に行った。</li> <li>(例) 清掃の目的を生徒とともに考えた 無言清掃を実施した</li> </ul> <p>○環境整備に取り組んだ。</p> <p>(例) 県民緑化運動によりグラウンドの緑化に取り組んだ 教室で栽培活動を行った 整理整頓を呼びかけた</p> <p>○人間関係づくりの機会をつくった。</p> <p>(例) 学年間を超えたつながりをもつ機会をつくった</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人間関係づくりのできる活動を取り入れる。</li> <li>・両荘みらい学園に向けた学年間(小学校を含む)を超えたつながりの育成する</li> <li>・委員会活動を充実させる</li> </ul> <p>○環境整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培活動を充実させる</li> <li>・教室の掲示物を見直す(基本的レイアウトの作成)</li> <li>・校内掲示物を整理する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掃除ははっきりとめんどくさいもの。それを無言でできるのはすごいと思う。</li> <li>・自分たちの生活の場を自分たちの手で美しくすることの意義が分かり、自主的に活動できると良いと思う。</li> <li>・栽培活動を充実させて、校門をくぐったら、ほっと落ち着き、心和む学校になるように努めてほしい。</li> <li>・ほとんどの生徒が学校楽しいと考えているが、そうは思わない生徒をどうするのか。</li> <li>・学校生活が楽しいと考える生徒が多いのは何より先生方の熱意の賜物であると思う。また環境整備し、身だしなみにも気を配る事は、基本的な生活習慣の確立にもつながり、すべての活動の活力にもなり得ると考える。</li> <li>・学年間(小学校含む)を超えた取り組みを目指してほしい。</li> <li>・他人のために行動するのは良い。</li> <li>・改築工事等で校内の整備、美化など難しいと思う。その中でできる取り組みがされていく良いと思う。</li> </ul>	B 75.0%
信頼される学校	「学校生活の公開と広報活動の充実」	B 81.3%	<p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導の実践を行っている。</li> <li>・保護者が相談しやすい雰囲気作りが必要である。</li> </ul> <p>↓</p> <p>【2月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○安心、安全な環境づくりをした。</li> <li>(例) 下校時刻を厳守した 子どもたちと共に過ごす時間を増やした 部活動で上荘小学校の体育館を利用した際、一緒に下校し安全を確保した 身だしなみに気を配った</li> </ul> <p>○広報活動を充実させた。</p> <p>(例) 学年通信・学級通信を発行した スクリレ・サンキューメールにより情報を発信した 学校ホームページの充実させた</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校活動を地域へ公開する</li> <li>・学校に、保護者・地域の方を招く機会を設ける</li> <li>・例年通りの活動に戻し、学校に来校していただく</li> </ul> <p>○広報活動の充実に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種通信を発行し、情報を発信する</li> <li>・学校ホームページを引き続き充実させる</li> </ul> <p>○職員研修を充実させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年通信やサンキューメールは大変充実していて見ていて様子がわかるように思うし楽しかった。</li> <li>・ホームページを充実させていく事は良いと思うが、高齢者家庭の多い両荘地区ではなかなか目にする事は少ないのではないだろうか。</li> <li>・今年は運動会や両中祭など学校に行くことができ、生徒たちの様子がよく分かった。学校生活をどう行っているか伝えていくのは大切だと思う。保護者が1番気になる場所である。</li> <li>・地域住民にとって中学校は小学校に比べややハードルの高い存在になっている。これはそれぞれの役割分担が違うことや、小学校を中心とする小学校区がまちづくりやコミュニティの基本単位であること、またこれまでの地域の成り立ちや歴史からもやむを得ない。今後はみらい学園の開校に向け、地域、保護者に対してよりいっそう広報活動等に取り組み、誰もが気軽に訪問できる学校であってほしい。</li> <li>・広報活動は重要だ。</li> <li>・コロナで行事以外の校内での生徒の様子が見えにくくなってしまった。</li> </ul>	B 70.8%